

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

記入日： 2024 年 10 月 11 日

法人名	有限会社 多胡設計	代表者	多胡 佑毅	法人・事業所の 特徴	小規模多機能居宅介護施設の特徴を活かし、利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、常にご利用者の立場に立ったサービスの提供に努めています。在宅を軸とする住み慣れた地域での生活を継続する事が出来るよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、心身の状況、環境を踏まえて通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に提供しています。
事業所名	くわのみ富岡	管理者	遠田由美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	人	人	人	人	人	2 人	人	3 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意 見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・自己評価の重要性を理解して、定期的に全スタッフで振り返りを行い、ケアの質の向上に努めます。	定期的に自己評価を振り返る事でマンネリ化せず良い事は継続する事が出来た。改善点は会議などで提案する事で再度振り返り共通の認識が持てた。	自己評価をスタッフ全員で行えた事は良かったと思う。	引き続き自己評価の重要性を理解して、各自で振り返り、必要な事は話し合いの場を設けて、スタッフのスキルアップとケアの質の向上に努めます。
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続き勉強会を重ねて、事業所としての在り方を理解し、屋内外の環境整備を行います。ご利用者様に快適に過ごして頂けるように、匂いや音に配慮して行きます。	匂い、室温、湿度などを常に気にして常に気を配る事を考えるようになった。室内の危険箇所などを把握し整える事でご利用者様に安全に過ごして頂ける事が出来た。屋外の草むしりや掃除をこまめに行い、来客者に気持ち良い環境を作るようになった。	匂いなどは気にならない。静かな環境なので高齢者は過ごしやすいと思う。	事業所のしつらえや環境を常に気にかけて、来客者やご利用者様に気持ち良く過ごして頂けるように努めていきます。
C. 事業所と地域のかかわり	・引き続き地域の行事に参加出来るように努めます。 ・暮らしや介護の相談窓口として地域の方が来所しやすい関係性が築けるように努めます。	地域のお困りの方がいれば早急に対応できるように連絡体制を整えて来た事で適切なご案内が出来て安心して頂けた。感染症対策で地域の行事に参加する事が難しかったが、少人数のボランティアの方の受け入れをして地域との関わりを保つよう努めた。	コロナ感染などで慎重に活動している事は理解している。状況をみて、地域との関わりを継続するように努めてもらいたい。地域資源は活用していけるように、必要な事は市に確認してもらっても良いと思う。	地域の行事の情報があれば、積極的に参加出来るように努めます。送迎や訪問時は近隣の方にも挨拶を行い、より良い関係を保てるようにします。介護でお困りの方には適切なサービスに繋がるように支援していきます。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・引き続きご利用者様やご家族様のニーズに応えられるよう、サービス内容の変更や追加など臨機応変に対応していきます。	ご利用者様の生活スタイルを把握して、通い・訪問・宿泊の変更や、通いの時間や訪問の時間をご家族様と相談し柔軟に対応する事で地域との関わりを継続する事が出来た。ご本人の馴染みの生活をご家族様から情報を得るように関わる事が出来ている。	柔軟なサービス提供は、小規模多機能ホームだからこそ出来る事だと思っている。今後もご利用者様が地域と関われるように努めてほしい。	・引き続きご利用者様やご家族様のニーズに応えられるよう、サービス内容の変更や追加など臨機応変に対応していきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・可能な限りコロナ感染症の状況を確認しながら会議を開催し、地域に開かれた施設作りに努めます。 ・今後も頂いたご意見を、事業所全体で把握し周知出来るように努めます。	感染症対策を行いながら定期的に開催できるように努めてきた。状況を確認し地域の方も参加して頂きたい。頂いたご意見は会議などで情報共有を行い、改善出来る事は早急に対応してきた。	感染症の状況を確認しながら、地域の方などに参加をして頂けるように努めてほしい。	今後も定期的に運営推進会議を開催し、頂いたご意見を事業所全体で把握し周知出来る様に努めます。感染症の状況を確認しながら、地域の方の意見も伺い、開かれた施設作りに努めます。
F. 事業所の 防災・災害対策	・様々な災害を想定して訓練を行い、ご利用者様に安全に過ごして頂けるように、常日頃から施設の屋内外の危険な箇所はないか意識して行きます。	自主訓練を繰り返し行っており、ご利用者様を守る行動がどれだけ取れるか不安になるが、会議で意見交換が出来ているので安心に繋がっている。地震や風水害も想定した訓練をしたいと意見があり課題がある事が分かった。	・消防訓練は年4回出来ているとの事で引き続きしていただきたいと思います。 ・今後は地震を想定した避難訓練も出来たら良いと思います。	ご利用者様に安全に過ごして頂けるように、様々な災害を想定して訓練を行っていきます。日頃から施設の屋内外の危険な箇所を把握するように努めます。